

住まいの害虫⑧

名前：

スズメバチ

発生しやすい時期：

5～10月

1 写真：

(1) オオスズメバチ



(巣)

- スズメバチの巣は、円形でソフトボール程のものから、バスケットボールの大きさを超えるものまであります。また、徳利を逆さにした形状のものもあります。
- アシナガバチの巣は、穴が多数開いた形状をしています。

(2) キアシナガバチとその巣



(3) キロスズメバチの巣



(4) オオスズメバチの巣



(5) コガタスズメバチの巣



2 生態：

大きさ	種類	大きさ (mm)	
		(女王バチ)	(働きバチ・雄バチ)
	オオスズメバチ	40~45	27~40
	キイロスズメバチ	25~28	17~24
	コガタスズメバチ	25~29	21~27
	ヒメスズメバチ	35~37	24~37
	モンスズメバチ	26~30	20~28
	クロスズメバチ	約 15	10~14
※参考 アシナガバチの大きさ 約 21~26 mm (一部に 11~18 mmの小型の種類もあります)			
生活史	冬	：越冬 (女王バチのみ)	
	春 (5月~6月下旬)	：営巣、産卵、育児 (女王バチ)	
	(6月下旬)	：羽化 (働きバチ)	
	夏 後半~秋	：活動最盛期	
	秋~冬	：新女王バチ誕生、越冬	
生息場所	地中 (オオスズメバチ、クロスズメバチに多い)、切り株、石垣の隙間、木の根周辺の空洞、庭木の枝、人家の軒先、屋根裏 等		
被害	刺傷被害、ハチ毒アレルギーによるアナフィラキシーショック 等		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期に残された巣は、翌春に再び利用されることはありません。 ・モンスズメバチやキイロスズメバチの一部は、夜間も活動します。 		

3 防除：

<p>(1) 巣の早期発見 日頃から樹木、庭木、軒下等を注意深く見渡し、早期に巣を発見し、被害を軽減します。</p> <p>(2) ハチからの防御 <ul style="list-style-type: none"> ・巣を見つけたら、近づかずに振動を与えないようにします。 ・大群に襲われた場合は、そっとしゃがみ、体を低くして、後ろに下がるとよいと言われています。また、ハチは、左右に動くものに敏感で、前後に動くものには感じにくいとも言われています。 </p> <p>(3) 専門業者への駆除依頼 スズメバチの種類によって、その大きさに関わらず、非常に攻撃性が強い種類 (オオスズメバチ、キイロスズメバチ、モンスズメバチ) があります。また、活動が最大となる夏から秋にかけては、餌となる昆虫類が減少している上、巣の中は、新しい女王バチの誕生などで興奮状態にあります。 そのため、ハチの攻撃性が強くなり、個人で駆除することは、大変危険であり、知識と経験を持った専門業者に依頼することをお勧めします。</p>
--

※アシナガバチより小さくても攻撃性の高いスズメバチもあり、大きさが小さいという理由で、アシナガバチと判断してしまうのは危険です。

(4) 手当て

ハチに刺されてしまった場合は、傷口を流水で洗い、患部を冷やし、医師の手当てを受けてください。また、ポイズンリムーバ（患部を陰圧にして、毒を吸い出す）での毒の吸い出しも効果的です。

(5) その他

ハチの防除は、一般的に大部分のハチが巣に戻ってくる夜間の処理がよく、その際の服装は、防護服を着用し、夜目立たない色（黒、青色等）の服装が有効です。